

単位修得状況調表

1. 中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭（平成30年度以前入学者用）

教科名等		必要単位数			備考
		中学	高校	養護	
教職に関する科目	教 職 論 I 教 職 論 II (教 職 論)	2	2	2	
	教 育 基 礎 学 I 教 育 基 礎 学 II 教 育 基 礎 学 III (教育学Ⅰ・Ⅱ)【注3】 (教育基礎論, 学校の経営・制度・社会)	3	3	3	教育基礎論, 学校の経営・制度・社会(平成24年度以降)は, 人間学群の学生のみ 教育学Ⅰ・Ⅱは平成23年度までの開設科目
	教 育 心 理 学 I 教 育 心 理 学 II 教 育 心 理 学 III	3	3		
	教 育 心 理 学			2	養護のみ
	教 育 内 容 ・ 方 法 論 I	1	1	1	
	教 育 内 容 ・ 方 法 論 II	1		1	
	障 害 児 指 導 法	1	1	1	
	教 科 指 導 法	6(*1)	4(*2)		*1(技術は8単位) *2(国語は5単位、外国語は6単位)
	道 徳 教 育 I 道 徳 教 育 II	2		2	
	特 別 活 動	1	1	1	
	生 徒 指 導 ・ 教 育 相 談 I 生 徒 指 導 ・ 教 育 相 談 II 生 徒 指 導 ・ 教 育 相 談 III (生徒指導・教育相談)	3	3	3	生徒指導・教育相談は平成23年度までの開設科目
	教 育 相 談			1	養護のみ
	進 路 指 導	1	1		
	教 育 実 習	5	5	5	
教 職 実 践 演 習	2	2	2		
教科に関する科目【注1】		20	20	28	教科ごとの履修科目は、「教科に関する科目に対応する開設授業科目一覧」を参照し、各科目の標準履修年次に従って履修する。 対応する授業科目は毎年変更になる可能性があるため、履修する年度ごとに『教職シラバス』にて確認すること。
教科又は教職に関する科目【注2】		8	16	7	「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」の最低修得単位を超えて修得した単位をあてる。 または、「教科又は教職に関する科目」として指定され科目から標準履修年次に従って履修する。

その他の科目	日 本 国 憲 法	2	2	2	
	体 育	2	2	2	
	外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	2	2	
	情 報 機 器 の 操 作	2	2	2	
	哲学、倫理学、宗教学に関する科目	2	2	2	

【注】

- 1 「教科に関する科目」の必要科目は履修する年度ごとに「教科に関する科目に対応する開設授業科目一覧」を参照。（養護は教科を養護と読替える）
- 2 「教科又は教職に関する科目」の必要科目は「③教科又は教職に関する科目」を参照（養護は教科を養護と読替える）。
- 3 教育基礎学，学校の経営・制度・社会は平成24年度からの開設科目である。平成23年度までに教育学Ⅰ・Ⅱを履修済みの人間学群教育学類の学生は履修する必要はない。
- 4 養護教諭における「教職に関する科目」の必要単位数は入学年度により異なる。

※取得希望免許状の種類・科目に対応した単位修得状況調表が必要な場合は、所属支援室で配付している「教育職員免許状申請のための単位修得状況調」を利用すること。

2. 小学校教諭(平成30年度以前入学者用)

免許法に規定する科目		授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
科目	各科目に含める必要事項				
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職論	1年次	2	年度
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	1年次	2	年度
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学	1年次	3	年度
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	学校の経営・制度・社会	1年次	2	年度
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2年次	2	年度
	・各教科の指導法	初等教科教育法(国語)	2年次	2	年度
		初等教科教育法(社会)	2年次	2	年度
		初等教科教育法(算数)	3年次	2	年度
		初等教科教育法(理科)	3年次	2	年度
		初等教科教育法(生活)	2年次	2	年度
		初等教科教育法(音楽)	2年次	2	年度
		初等教科教育法(図画工作)	2年次	2	年度
		初等教科教育法(家庭)	2年次	2	年度
	初等教科教育法(体育)	2年次	2	年度	
	・道徳の指導法	初等道徳教育論	2年次	2	年度
・特別活動の指導法	初等特別活動論	3年次	2	年度	
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	学習指導論	2年次	2	年度	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	3年次	2	年度
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談論	3年次	2	年度
教育実習		教育実習	3年次	5	年度
教職実践演習		教職実践演習(小)	4年次	2	年度

◆教科に関する科目の履修状況

授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
初等国語	2年次	1	年度
初等社会	2年次	1	年度
初等算数	2年次	1	年度
初等理科	2年次	1	年度
初等生活	2年次	1	年度
初等音楽	2年次	1	年度
初等図画工作	2年次	1	年度
初等家庭	2年次	1	年度
初等体育	2年次	1	年度

◆教科又は教職に関する科目(必修科目)の履修状況

授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
初等外国語活動	1年次	1	年度

◆その他の科目の履修状況

授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
日本国憲法	2年次	2	年度
体育	1・2年次	2	年度
外国語コミュニケーション	1・2年次	4.5	年度
情報機器の操作	1年次	2	年度
哲学、倫理学、宗教学に関する科目	2年次	2	年度

3. 中学校教諭、高等学校教諭（平成31年度入学者用）

区分	教科名等		必要単位数		備考
			中学	高校	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項【注1】		20	20	教科ごとの履修科目は、「教科に関する専門的事項」に対応する開設授業科目一覧を参照し、各科目の標準履修年次に従って履修する。 対応する授業科目は毎年変更になる可能性があるため、履修する年度ごとに『教職シラバス』にて確認すること。
		各教科の指導法			
教育の基礎的理解に関する科目	現代教育と教育理念		2	2	
	教育史概論		2	2	
	教職論Ⅰ		2	2	
	教職論Ⅱ		2	2	
	教育社会学概論		2	2	3科目の中から2科目選択必修
	教育の法と制度		2	2	
	学校経営概説				
	こころの発達		2	2	
	学習の心理		2	2	
特別支援教育		1	1		
教育課程編成論		1	1		
法道及び生徒総合的な学習の時間等に関する科目	道徳教育Ⅰ		2	/	
	道徳教育Ⅱ				
	総合的な学習の時間の指導法Ⅰ		2	2	
	総合的な学習の時間の指導法Ⅱ		2	2	
	特別活動の理論と実践		1	1	
	教育の方法と技術		1	1	
	生徒指導		1	1	
	教育相談の基礎		2	2	
教育相談の実践		2	2		
に教育実習に関する科目	進路指導・キャリア教育		1	1	
	教育実習		5	5	
大学が独自に設定する科目【注2】	教職実践演習		2	2	
			4	12	上記科目の最低修得単位数を超えて修得した単位をあてる。 または、「大学が独自に設定する科目」として指定された科目から、標準履修年次に従って履修する。

教職課程の履修状況

その他の科目	日本国憲法	2	2	
	体育	2	2	
	外国語コミュニケーション	2	2	
	情報機器の操作	2	2	

【注】

- 1 「教科に関する専門的事項」の必要科目は履修する年度ごとに「教科に関する専門的事項に対応する開設授業科目一覧」を参照すること。
- 2 「大学が独自に設定する科目」の必要科目は教職シラバスの『大学が独自に設定する科目』の頁を参照すること。

※取得希望免許状の種類・科目に対応した単位修得状況調表が必要な場合は、所属支援室で配付している「教育職員免許状申請のための単位修得状況調」を利用すること。

4. 養護教諭（平成31年度入学者用）

区分	教科名等	必要 単位数	備考
		養護	
養護に関する科目【注1】		28	<p>「教科に関する専門的事項」の看護学類の頁に記載された授業科目一覧を参照し、各科目の標準履修年次に従って履修する。</p> <p>対応する授業科目は毎年変更になる可能性があるため、履修する年度ごとに『教職シラバス』にて確認すること。</p>
教育の基礎的理解に関する科目	現代教育と教育理念	2	
	教育史概論		
	教職論Ⅰ	2	
	教職論Ⅱ		
	教育社会学概論	2	3科目の中から2科目選択必修
	教育の法と制度		
	学校経営概説		
	教育心理	2	
特別支援教育	1		
教育課程編成論	1		
の道徳、相導法及び総合的な学習の時間等に関する科目	道徳教育Ⅰ	2	
	道徳教育Ⅱ		
	総合的な学習の時間の指導法Ⅰ	2	
	総合的な学習の時間の指導法Ⅱ		
	特別活動の理論と実践	1	
	教育の方法と技術	1	
	生徒指導	1	
	教育相談	1	
に教育実践する科目	養護実習	5	
	教職実践演習（養護教諭）	2	
大学が独自に設定する科目【注2】		7	<p>上記科目の最低修得単位を超えて修得した単位をあてる。</p> <p>または、「大学が独自に設定する科目」として指定された科目から、標準履修年次に従って履修する。</p>
その他の科目	日本国憲法	2	
	体育	2	
	外国語コミュニケーション	2	
	情報機器の操作	2	

教職課程の履修状況

【注】

- 1 「養護に関する科目」の必要科目は履修する年度ごとに「教科に関する専門的事項に対応する開設授業科目一覧」の看護学類の頁を参照すること。
- 2 「大学が独自に設定する科目」の必要科目は教職シラバスの『大学が独自に設定する科目』の頁を参照すること。

※取得希望免許状の種類・科目に対応した単位修得状況調表が必要な場合は、所属支援室で配付している「教育職員免許状申請のための単位修得状況調」を利用すること。

5. 小学校教諭(平成31年度入学者用)

免許法に規定する科目		授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
科目	各科目に含める必要事項				
教科及び教科の指導法に関する科目	・教科に関する専門的事項	下表「教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況」を参照		10	
	・各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			20	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	1年次	2	年度
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	1年次	2	年度
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	学校の経営・制度・社会	1年次	2	年度
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1年次	3	年度
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	初等特別支援教育	3年次	1	年度
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2年次	2	年度
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の指導法	初等道徳教育論	2年次	2	年度
	・総合的な学習の時間の指導法	初等総合的な学習の時間の指導法	3年次	1	年度
	・特別活動の指導法	初等特別活動論	3年次	1	年度
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	学習指導論	2年次	2	年度
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	3年次	2	年度
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談論	3年次	2	年度
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習	3年次	5	年度
	教職実践演習	教職実践演習(小)	4年次	2	年度

◆教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況

各科目に含める必要事項	授業科目名	単位数	修得年度
・教科に関する専門的事項	初等国語	1	年度
	初等社会	1	年度
	初等算数	1	年度
	初等理科	1	年度
	初等生活	1	年度
	初等音楽	1	年度
	初等図画工作	1	年度
	初等家庭	1	年度
	初等体育	1	年度
	初等外国語活動	1	年度

◆教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況

各科目に含める必要事項	授業科目名	単位数	修得年度
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	初等教科教育法(国語)	2	年度
	初等教科教育法(社会)	2	年度
	初等教科教育法(算数)	2	年度
	初等教科教育法(理科)	2	年度
	初等教科教育法(生活)	2	年度
	初等教科教育法(音楽)	2	年度
	初等教科教育法(図画工作)	2	年度
	初等教科教育法(家庭)	2	年度
	初等教科教育法(体育)	2	年度

◆大学が独自に設定する科目の履修状況

授業科目名	単位数	修得年度
児童文学論	2	年度
数学教育論	2	年度
科学教育論	2	年度
教育臨床学	2	年度
カリキュラム開発演習	2	年度
環境教育論	2	年度

◆その他の科目の履修状況

授業科目名	標準履修年次	単位数	修得年度
日本国憲法	2年次	2	年度
体育	1・2年次	2	年度
外国語コミュニケーション	1・2年次	4.5	年度
情報機器の操作	1年次	2	年度